

さんだ里山スマートシティに関する アンケート調査結果報告書(概要)

1. 調査の実施概要

①調査対象者

基準日（令和3年10月1日）時点で18歳以上の3,000人。

②調査期間

令和3年10月1日（金）～10月15日（金）

③調査実施結果

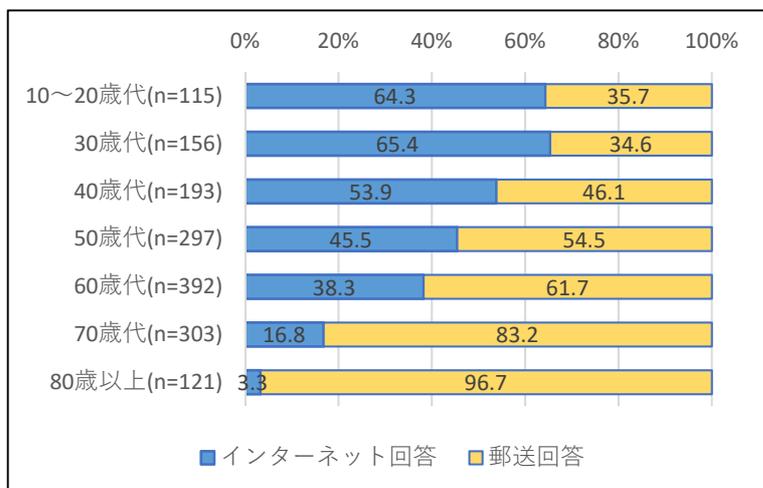
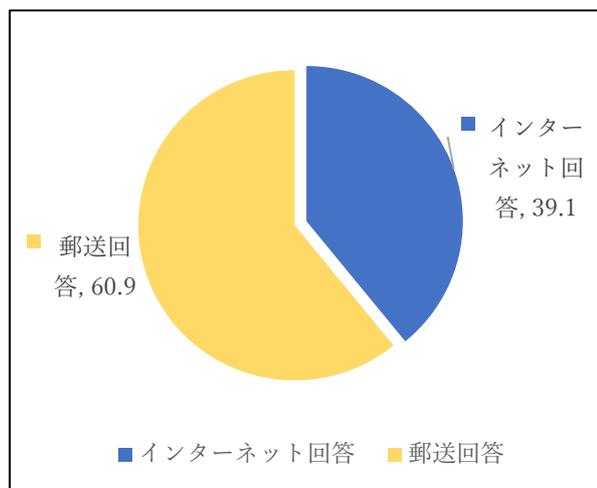
有効配布数 2,993 件（不到着 7 件）

回答総数：1,585 件（回答率：53.0%）

2. 調査結果の分析

（1）回答方法について

若い世代ほどインターネット回答を選択する傾向が見られ、40歳代まではインターネット回答の方が多数を占めています。50歳代以降は郵送回答の方が多数を占め、80歳代以上ではほとんどの人が郵送回答を選択しました。



（2）デジタル化による暮らしの変化（年代別・上位抜粋）

「ニュースや気象情報など、各種情報をインターネットで入手する」「家族・友人との連絡に電子メールやソーシャルネットワーキングサービス（SNS）（LINE など）を使う」は70歳代までで割合が多い一方、80歳代では「特に変わりはない」の割合が最も多くなっています。

	10～20 歳代		30 歳代		40 歳代		50 歳代		60 歳代		70 歳代		80 歳以上	
	回答	(%)	回答	(%)	回答	(%)	回答	(%)	回答	(%)	回答	(%)	回答	(%)
ニュースや気象情報など、各種情報をインターネットで入手する	99	86.1	140	89.7	174	90.2	278	93.6	326	83.2	182	60.1	26	21.5
家族・友人との連絡に電子メール*3 やソーシャルネットワーキングサービス (SNS) *4 (LINE など) を使う	106	92.2	137	87.8	170	88.1	265	89.2	338	86.2	202	66.7	35	28.9
音楽や映像をインターネットで視聴する	106	92.2	134	85.9	155	80.3	223	75.1	209	53.3	81	26.7	12	9.9
インターネットショッピングを利用する	95	82.6	135	86.5	158	81.9	231	77.8	233	59.4	100	33.0	15	12.4
特に変わりはない	2	1.7	5	3.2	3	1.6	7	2.4	20	5.1	64	21.1	46	38.0

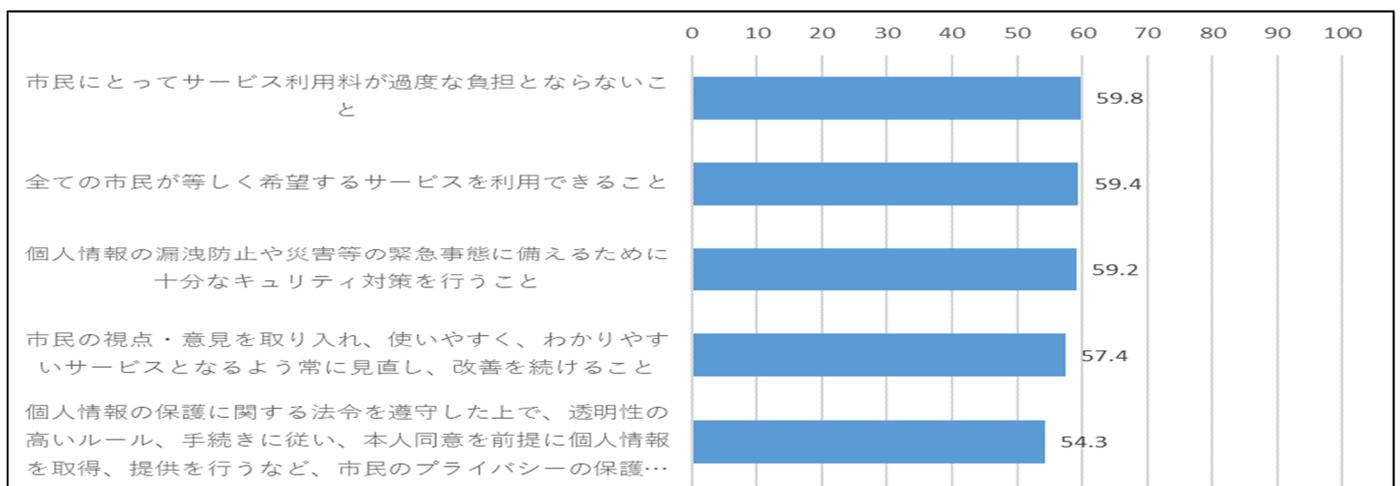
(3) デジタル化により期待するサービスやシステム (年代別・上位抜粋)

「健康・医療」はいずれの年代にも期待されている割合が多い一方、「防災・安全」「教育」「働き方・産業」は若い世代ほど期待されている割合が多くなっています。また「福祉・共生・介護」は高齢世帯ほど期待されている割合が高くなっています。

	10～20 歳代		30 歳代		40 歳代		50 歳代		60 歳代		70 歳代		80 歳以上	
	回答	(%)	回答	(%)	回答	(%)	回答	(%)	回答	(%)	回答	(%)	回答	(%)
健康・医療	68	59.1	92	59.0	127	65.8	207	69.7	312	79.6	222	73.3	68	56.2
防災・安全	74	64.3	107	68.6	126	65.3	230	77.4	277	70.7	166	54.8	48	39.7
福祉・共生・介護	46	40.0	69	44.2	103	53.4	204	68.7	289	73.7	222	73.3	78	64.5
交通	73	63.5	87	55.8	88	45.6	186	62.6	232	59.2	161	53.1	58	47.9
行政	50	43.5	106	67.9	107	55.4	202	68.0	204	52.0	103	34.0	21	17.4

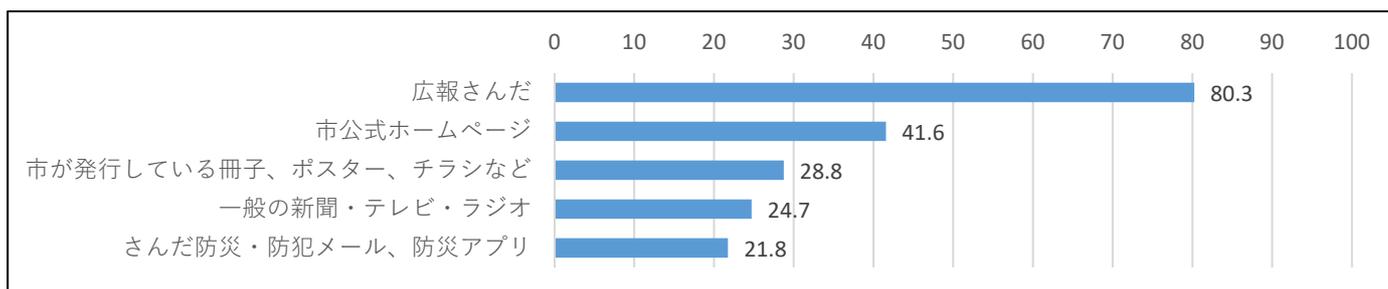
(4) スマートシティ推進にあたり重視すべきこと (上位抜粋)

「サービス利用料が過度な負担とならないこと」が 59.8%と最も多く、「全ての市民が等しくサービスを利用できること」(59.4%)、「十分なセキュリティ対策を行うこと」(59.2%)、「市民の視点・意見を取り入れ、常に見直し、改善を図ること」(57.4%)、「個人情報保護法令を遵守し、市民のプライバシーの保護を徹底すること」(54.3%)が続きました。



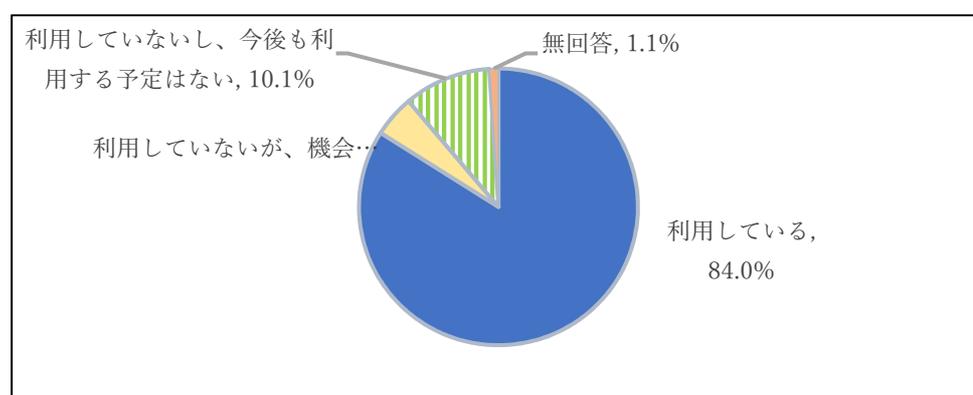
(5) 市政情報の入手方法

三田市からの行政情報をどのような方法で入手しているか尋ねた結果、「広報さんだ」が80.3%で最も多く、「市公式ホームページ」(41.6%)、「市発行の冊子、ポスター、チラシ等」(28.8%)、「一般の新聞、テレビ、ラジオ」(24.7%)、「さんだ防災・防犯メール、防災アプリ」(21.8%)が続きました。



(6) インターネットの利用状況

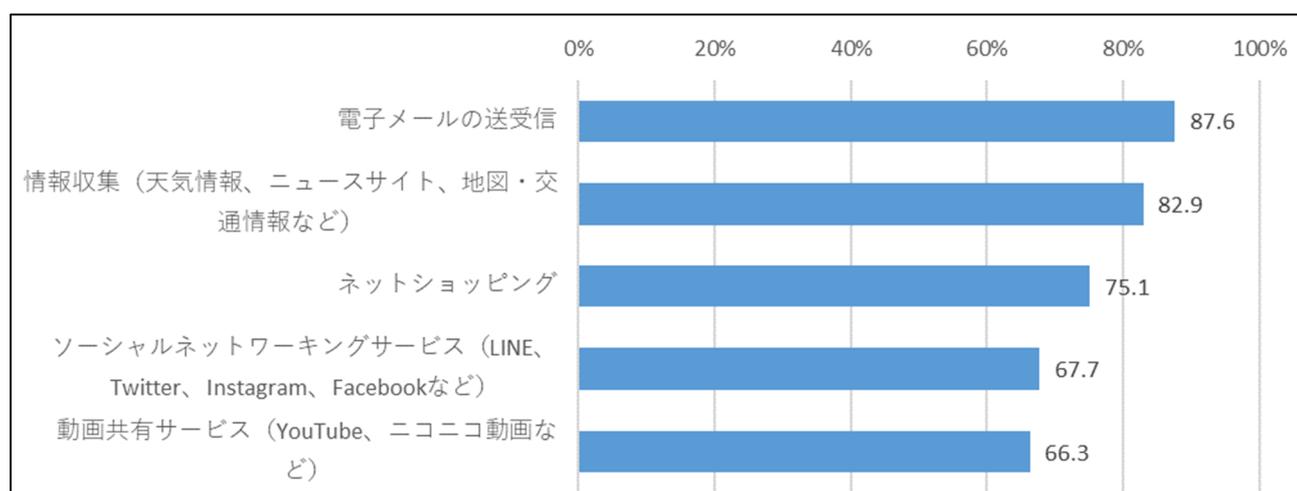
■インターネットの利用



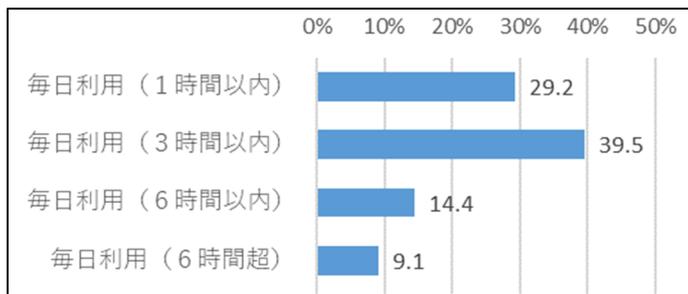
インターネットの利用は、「利用している」が84.0%と最も多くなっています。「利用していないが、機会があれば利用したい」は4.9%、利用していないし、「今後も利用する予定はない」は10.1%でした。

■過去1年間に利用したインターネットの機能・サービス

過去1年間に利用したインターネットの機能・サービスは、「電子メールの送受信」が87.6%と最も多くなっています。次いで、「情報収集（天気情報、ニュースサイト、地図・交通情報など）」(82.9%)、「ネットショッピング」(75.1%)、「ソーシャルネットワーキングサービス（LINE、Twitter、Instagram、Facebookなど）」(67.7%)、「動画共有サービス（YouTube、ニコニコ動画など）」(66.3%)の順となっています。



■インターネットの利用頻度

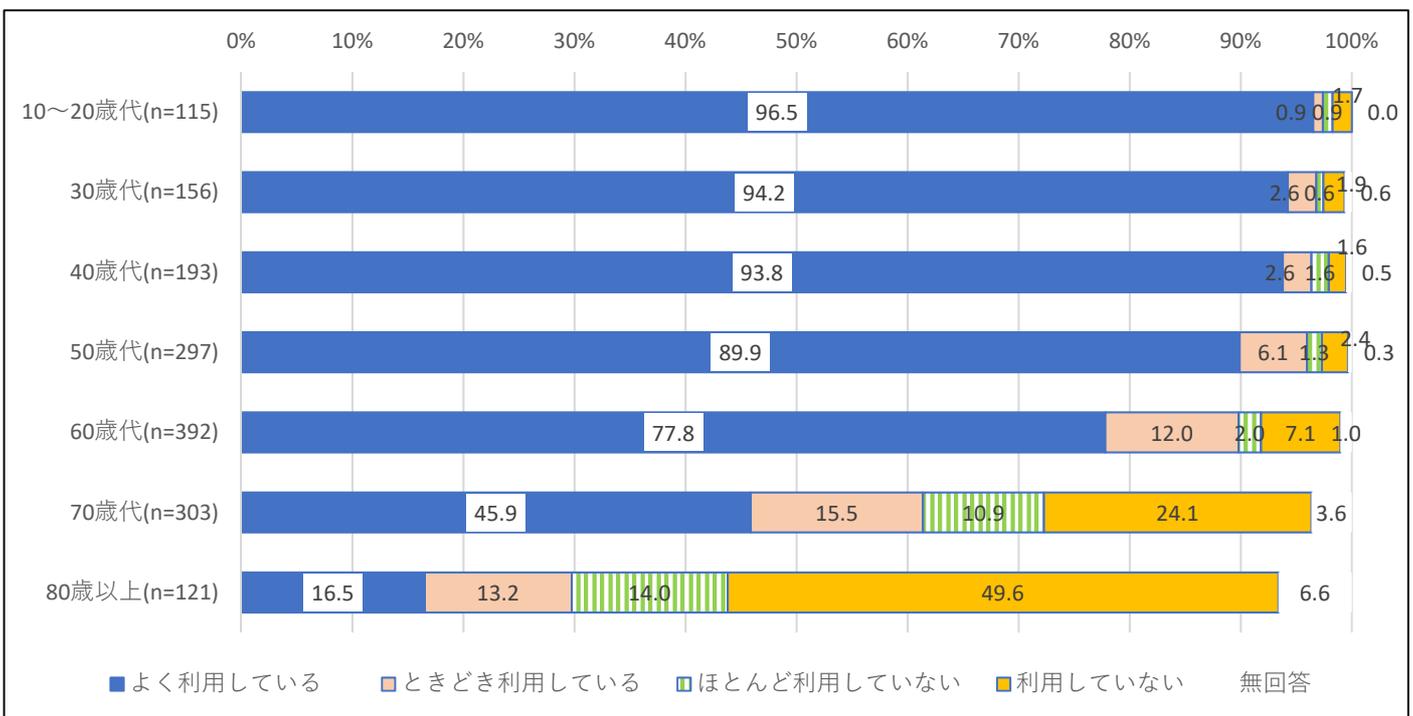


「毎日利用（3時間以内）」が39.5%と最も多くなっています。次いで、「毎日利用（1時間以内）」（29.2%）、「毎日利用（6時間以内）」（14.4%）の順となっています。

■スマートフォンやタブレット端末の利用（年代別）

スマートフォン等の利用について年代別に見ると、60歳代までは利用している層が9割以上を占めており、70歳代では利用している層が6割に上ります。一方で80歳以上では利用している層は約3割となっています。

総務省「令和2年通信利用動向調査」では、80歳以上のスマートフォン・タブレット利用層は約1割にとどまっており、全国平均よりも利用者が多くなりました。



(7) 自由意見

分類	主な意見（抜粋）	件数
デジタル デバインド	高齢者等が取り残されることなく活用できること。 デジタル化についていけない方々への配慮もお願いしたい。	56
期待する	さんだ里山スマートシティの実現に期待する。 デジタル化の推進に伴い、さらなる豊かな生活の実現を期待しています。	31
分からない	「さんだ里山スマートシティ」について初めて聞いた。 「さんだ里山スマートシティ」の活動内容について、わかりやすい広報を。	26
情報発信・ 情報共有	自治体と市民が様々な情報共有を迅速に行える仕組みづくり。 三田市内にある企業や商店、自治会、交通機関等の情報サイト。	26